

この街にこの人あり

荻窪の魅力を発信!! 創刊55周年、杉並のタウン誌「荻窪百点」

「荻窪百点」は隔月発行の「荻窪発信の杉並のタウン誌」です。みなさんも、店舗などで見かけて読んだり、貰ったりしたことがあると思います。「荻窪百点」の編集発行人である松葉襄さんにお話を伺いました。



松葉 襄さん

■プロフィール

松葉家の先祖は江戸に住む徳川の御家人でしたが、牧師を業とする父が戦時中に中島飛行機に徴用されたことがきっかけで、荻窪の住民となりました。私は桃二小に入学し、井荻中では仲間とともにサッカー部を創設したことが思い出されます。社会人になってからは本格登山に熱中し、何度か危険な状況に遭遇しました。冬山の生死を分ける山行で、異なる意見をまとめる説得力を学んだ経験が、その後の仕事にも役立っていると思います。

■農業誌からタウン誌へ

社会人になった頃は大手出版社の仕事をしていたのですが、父が農業全国誌「明るい生活」を創刊したので、その編集に携わりました。私は農業誌より地域情報誌に魅力を感じ、昭和40年に、当時ベッドタウン化が進む荻窪で、タウン誌「荻窪百点」を創刊しました。以後、55年間で327号を数えます。

現在、発行部数は10,000部。誌面の一部に会員の広告を掲載していますが、会員は企業の支店やチェーン店が増え、古くからの個人店が減りました。街の移り変わりが会員構成からも読み取れます。

■荻窪の魅力を発信

「荻窪百点」が長く継続できているのは、荻窪の街に魅力を感じる読者が多いことに加え、私自身も荻窪が好きだからだと思います。「荻窪百点」には荻窪の魅力を選んで掲載するようにしています。正しい情報を伝えることは大切で、写真を撮り続けていますが、撮り続けた写真約15,000枚は今後役に立つと思います。また、井伏鱒二氏が「荻窪風土記」を執筆された際には、私も関わり、様々な荻窪の情報を提供したりしました。



「荻窪百点」326号の〈特集〉では荻窪地域区民センター協議会の設立40周年記念キャンペーン/「愛称を公募で『荻外荘通り』」を取り上げましたが、これからも、地域のその時々話題を取り上げ、荻窪の魅力を発信し、「荻窪百点」を発行していきたいと思っています。

(株)明るい生活社 荻窪百点
〒167-0043 杉並区上荻1-18-3 亀屋酒販第2ビル311 ☎3391-5114
Eメール info@ogikubo100ten.co.jp